

第三條 總裁ハ親任トス局中一切ノ事

務ヲ管理シ所部ノ官吏ヲ監督ス

第四條 副總裁ハ總裁ヲ輔佐シ總裁事

故アルトキハ其ノ職務ヲ代理ス

附則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

大學令

右謹テ上奏シ恭シク

聖裁ヲ仰キ併セテ樞密院ノ議ニ付セラ

レムコトヲ請フ

大正七年九月十三日

内閣總理大臣伯爵寺内正毅



勅令第 號

大學令

第一條 大學ハ國家ニ須要ナル學術ヲ
教授シ及其ノ蘊奧ヲ攻究スルヲ以テ
目的トス

第二條 大學ニハ數分科大學ヲ置クヲ
常例トス但シ一分科大學ノミヲ置ク
コトヲ得

分科大學ハ文科、理科、法科、醫科、工科、農
科等トス

第三條 分科大學ニハ研究科ヲ置クヘシ

數分科大學ヲ置キタル大學ノ研究科ヲ綜合シテ大學院トス

第四條 大學ハ官立、公立又ハ私立トス

第五條 公立大學ハ特別ノ必要アル場合ニ於テ北海道及府縣ニ限り之ヲ設立スルコトヲ得

第六條 私立大學ハ財團法人ニ限り之ヲ設立スルコトヲ得

前項ノ財團法人ハ大學ニ必要ナル設備又ハ之ニ要スル資金及大學ヲ維持スルニ足ルヘキ收入ヲ生スル基本財産ヲ有スルコトヲ要ス

前項ノ基本財産ハ現金又ハ國債證券トシ之ヲ政府ニ供託スヘシ

第七條 公立及私立ノ大學ノ設立廢止

ハ文部大臣ノ認可ヲ受クヘシ
前項ノ設立ノ認可ハ文部大臣ニ於テ勅裁ヲ請フヘシ

第八條 文科大學、法科大學、其ノ他之ニ
準スヘキ分科大學ニ入學スルコトヲ
得ル者ハ當該大學豫科ヲ修了シタル
者、高等學校文科ヲ卒業シタル者又ハ
文部大臣ノ定ムル所ニ依リ之ト同等
以上ノ學力アリト認メラレタル者ト
ス

理科大學、醫科大學、工科大學、農科大學
其ノ他之ニ準スヘキ分科大學ニ入學
スルコトヲ得ル者ハ當該大學豫科ヲ

修了シタル者、高等學校理科ヲ卒業シ
タル者又ハ文部大臣ノ定ムル所ニ依
リ之ト同等以上ノ學力アリト認メラ
レタル者トス

第九條 分科大學ニ三年以上在學シ一
定ノ試験ヲ受ケ之ニ合格シタル者ハ
學士ト稱スルコトヲ得

前項ノ在學年限ハ醫學ヲ修ムル者ニ
在リテハ四年以上トス

第十條 分科大學研究科ニ入ルコトヲ

得ル者ハ醫學ヲ修ムル者ニ在リテハ
四年以上其ノ他ノ者ニ在リテハ三年
以上當該分科大學ニ在學シタル者又
ハ當該分科大學ニ於テ適當ト認メタ
ルモノトス

第十一條 大學ニハ特別ノ必要アル場
合ニ於テ豫科ヲ置クコトヲ得
大學豫科ニ於テハ高等學校高等科ノ
程度ニ依リ高等普通教育ヲ為スヘシ
第十二條 大學豫科ノ修業年限ハ三年

又ハ二年トス

修業年限三年ノ大學豫科ニ入學スル
コトヲ得ル者ハ中學校第四學年ヲ修
了シタル者又ハ文部大臣ノ定ムル所
ニ依リ之ト同等以上ノ學力アリト認
メラレタル者トス
修業年限二年ノ大學豫科ニ入學スル
コトヲ得ル者ハ中學校ヲ卒業シタル
者又ハ文部大臣ノ定ムル所ニ依リ之
ト同等以上ノ學力アリト認メラレタ

ル者トス

第十三條 大學豫科ハ其ノ設備、編制、教員及教科書ニ関シテハ之ヲ高等學校高等科ニ準シ高等學校ニ関スル規定ヲ準用ス

第十四條 大學豫科ノ生徒定數ハ毎年ノ豫科修了者ノ負數カ其ノ年當該大學ニ收容シ得ル員數ヲ超過セサル程度ニ於テ之ヲ定ムヘシ

第十五條 大學及大學豫科ノ學則ハ官

立大學ニ在リテハ統轄者公立大學ニ在リテハ管理者私立大學ニ在リテハ設立者之ヲ定メ文部大臣ノ認可ヲ受クヘシ

第十六條 公立及私立ノ大學ニハ相當負數ノ專任教員ヲ置クヘシ

第十七條 公立大學職員ノ旅費其ノ他ノ給與ニ関スル規程ハ文部大臣ノ認可ヲ經テ地方長官之ヲ定ム

第十八條 公立及私立ノ大學ハ文部大

臣ノ監督ニ屬ス

第十九條 私立大學ノ教員ノ採用ハ設立者ニ於テ文部大臣ノ認可ヲ受クヘシ公立大學ノ教員ニシテ官吏ノ待遇ヲ受ケサル者ニ付亦同シ

第二十條 文部大臣ハ公立及私立ノ大學ニ對シ報告ヲ徵シ檢閲ヲ行ヒ其ノ他監督上必要ナル命令ヲ為スコトヲ得

第二十一條 私立大學ノ設立者ハ每學

年又ハ每事業年度ノ開始前收支豫算ヲ定メ每學年又ハ每事業年度ノ終了後收支決算ヲ為シ之ヲ文部大臣ニ届出ツヘシ

文部大臣ハ必要ト認ムルトキハ收支豫算ノ變更ヲ命スルコトヲ得

第二十二條 本令ニ依ラサル學校ハ大學ト稱シ又ハ其ノ名稱ニ大學タルコトヲ示スヘキ文字ヲ用ウルコトヲ得ス

附則

本令ハ大正八年四月一日ヨリ之ヲ施行ス
帝國大學及帝國大學豫科ハ之ヲ本令ニ依ル大學及大學豫科トス
本令施行ノ際現ニ大學ト稱シ又ハ其ノ名稱ニ大學タルコトヲ示スヘキ文字ヲ用ウル學校ニハ當分ノ内第二十二條ノ規定ヲ適用セス

高等學校令

右謹テ上奏ニ恭シク
聖裁ヲ仰キ併セテ樞密院ノ議ニ付セラレムコトヲ請フ

大正七年九月十三日

内閣總理大臣伯爵寺内正毅

